市町村名	北大東村														
令和4年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート															
事業名	農・福・観連携6次産業推進活性化事業				事業類型	☒ 産業振興 ☒ 定住促進 ☐ その他									
担当部署名	経済課	☒ 現年事業 ☐ 繰越事業	事業実施(予定)年度	平成29～令和6年度											
事業内容	農業振興、障がい者福祉、観光振興に資する施設を整備する。 先導性等に係る取組 <table border="1"> <tr> <td>☐ 自立性</td> <td>☒ 政策間連携</td> <td>☐ 離島活性化を担う人材の確保・育成</td> </tr> <tr> <td>☐ 官民協働</td> <td>☐ 事業推進主体の形成</td> <td>☐ その他</td> </tr> <tr> <td colspan="3">☐ 離島地域特有の条件不利性に起因するもの</td> </tr> </table>						☐ 自立性	☒ 政策間連携	☐ 離島活性化を担う人材の確保・育成	☐ 官民協働	☐ 事業推進主体の形成	☐ その他	☐ 離島地域特有の条件不利性に起因するもの		
☐ 自立性	☒ 政策間連携	☐ 離島活性化を担う人材の確保・育成													
☐ 官民協働	☐ 事業推進主体の形成	☐ その他													
☐ 離島地域特有の条件不利性に起因するもの															
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和6年度)														
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()														
予算額・執行額 【単位:円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		～R1年度	R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度									
	当初予算額	34,427	216,230	333,242	-	9,700									
	増減額	0	▲ 203,173	0	-	0									
	予算現額	34,427	13,057	333,242	-	9,700									
	前年度から繰越	-	-	-	333,242	-									
	翌年度へ繰越	-	-	333,242	-	-									
	計(A)	34,427	13,057	0	333,242	9,700									
	執行済額(B)	33,939	12,566	0	7,536	8,595									
	うち補助金充当額	27,147	10,052	0	6,029	6,876									
	不用額	488	491	0	325,706	1,105									
執行率(%) (B/A)	98.6%	96.2%	0.0%	2.3%	88.6%										
予算の状況	予算の状況の説明 不用額の1,105千円については受入人数の減少による残である。														
活動目標(指標) 及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況												
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度								
	人材育成(現業実習)	目標	-	3回	3回	2回	3回								
		実績	-	3回	2回	3回	3回								
達成状況説明	・人材育成(研修や就労体験実習)を3回行い、6人が参加した。														
成果目標(指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(H29年度)	R2年度	R3年度	R4年度	後年度目標値(R6年度)								
	加工品販売額	目標	/	426万円	426万円	426万円	678万円								
		実績	262万円	460万円	477万円	168万円									
	成果目標(指標)		基準値(H29年度)	R2年度	R3年度	R4年度	後年度目標値(R6年度)								
	障がい者の雇用(延べ人数)	目標	/	-	-	-	5人								
		実績	0人	1人	4人	4人									
	成果目標(指標)		基準値(H29年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)								
	就労体験受け入れ者数	目標	/	12人	12人	8人	12人								
実績		11人	5人	5人	6人	6人									
進捗状況説明	・就業体験実習で島を訪れ、その後雇用に繋がった人が令和4年度までに4人となった。 ・就労体験実習受入数は、新型コロナウイルス感染症予防のため、人数を制限したことにより、目標達成ができなかった。														

取組の検証	成果目標に対する原因・要因分析	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○「加工品販売額」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き過去に例がないほどのサトウキビの豊作が続いたことにより、じゃがいもの生産トン数の減少に繋がり、それに伴う加工品販売額の減少が課題となった。 <p>○「障がい者の雇用」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北大東村島の現状としては、一人で自立が難しい障がい者を雇用し移住・定住に繋げていくには、受入体制や就労支援体制の整備や雇用の場の不足が課題となった。 <p>○「就業体験受入者数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により参加を控えたいとの意見があったことが課題となった。 	<p>○「加工品販売額」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存のじゃがいも加工計画の見直しを行い現状に沿った目標を作成し、販売額の増に繋げることが必要。 <p>○「障がい者の雇用」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者が単身で移住できるようにするため、国の基準に沿った共同生活支援施設(居住施設)や、就労支援体制などの障害福祉サービス事業、障がい者雇用の場を整備することが必要。また、地域内で障がい者雇用に対する理解や協力をより一層得るために、「農福観連携事業」の意義や就労体験実習の実績を地域内に広報する必要。 <p>○「就業体験受入者数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策や来島の際の検査等参加者や島民が安心して参加する環境を整えることが必要。
今後の取り組み方針		
<p>○「加工品販売額」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存のじゃがいも加工計画の見直しを行い現状に沿った目標を作成し、販売額の増に繋げる。また、じゃがいも以外の既存農産物もしくは付加価値の高い新規農産物生産も検証し、加工センターの通期での稼働率を高める検討を行う。 <p>○「障がい者の雇用」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人 北大東島振興機構が主体となって、定住を希望している障がい者の共同生活支援施設や就労支援施設等の計画を行い、障がい者に対する理解や協力を得るため広報活動を行う。 <p>○「就業体験受入者数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策等を行いながら引き続き就業体験を実施し、企業とのマッチングや農作物加工センターで就業する方の募集選考を行う。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担額	補助対象外経費
	8,595	8,595	6,876	1,719	0
<pre> graph LR A[北大東村 8,595千円] --> B[委託料 8,595千円] B --> C["(一社)北大東島振興機構 8,595千円"] subgraph D [] C end style D stroke-dasharray: 5 5 </pre>					

資金の流れ、検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	ホームページ上で企画競争の公募をおこなったが、一社だけの応募であった委託法人については、過去に事業実績もあり、当該業務の委託先として妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算の積算については、1社見積りにより行った。過年度実績を元に積算したものとなり妥当と考えます。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、使途については積算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。